

審査項目	審査の視点	考えられるキーワード	自己評価
製品・サービスの新規性	自社にとっての新規性・革新性が高く、思い切ったチャレンジを行うものか	新規性、イノベーション、革新性、技術革新、新規事業、など	
	ポストコロナ・ウィズコロナ時代の経済社会に対応した事業になっているか	ポストコロナ・ウィズコロナ、非接触、など	
市場性、競争力または優位性	新市場への展開など思い切ったチャレンジを行うものか	思い切った、チャレンジ、リスクを取る、大胆な、など	
	ターゲットや地域、市場規模等の分析や状況の把握がなされ、そのうえで市場ニーズの有無を検証できているか	ターゲット顧客、ターゲティング、顧客ニーズ、市場規模、市場動向、市場調査、レッド/ブルーオーシャンなど	
	製品又はサービスの競合他社との優位性があるか	競争優位性、競争力、差別化、競合商品、競合分析、など	
事業計画の熟度・実現性	事業に至った動機や経緯、必要性が明確か	新規事業の背景・経緯、SWOTとの関連性 など	
	課題解決の方法が適切か	問題、ボトルネック、リスク、問題解決、ソリューション、施策、解決 など	
	事業を適切に遂行できる体制・スケジュールか	体制、組織、人員、人材、ステークホルダーなど スケジュール、実施期間、ロードマップなど	
	経費予算書の経費項目は、事業計画を反映しているか	新規設備の必要性、主要費用の必要性、など	
	事業実施に必要な許認可の対応ができているか	許認可	
事業成果の妥当性	自社の強みを活用し、既存事業との相乗効果が見込まれるか	SYNERGY, シナジー効果, 相乗効果, レバレッジ, 有効活用 など	
	費用対効果が高いか	費用対効果、ROI など	
	売上の増加等、事業の成長が見込まれるか	売上、付加価値、事業拡大、成長志向、など	
地域経済波及効果	県内の雇用や地域活性が期待できるか	雇用増、地域経済への貢献、県外からの流入、インバウンド客など	
	先端的なデジタル技術の活用、新しいビジネスモデルの構築等を通じて地域イノベーションに貢献し得るか	AI、IoT、DX、VR、オンライン、EC、QR決済、キャッシュレス、クラウド、ドローン、ロボット、ビッグデータなど	
	他の県内事業者への波及効果が見込まれるか	県内事業者からの仕入・設備購入、	